

手術部位感染対策

小野寺睦雄

- 1 術前の患者管理
 - 1.1 待機手術で手術部位から離れた部位に感染がある場合は、感染治療後に手術を行う。186, 187(ⅡA)
 - 1.2 血糖値を管理し、周術期の高血糖状態を避ける方が良い。188, 189, 190(ⅡB)
 - 1.3 待機手術では少なくとも30日前に禁煙を行わせる方が良い。191, 192(ⅡB)
 - 1.4 術前の入院期間を短くする方が良い。191, 193(ⅢB)

- 2 術前処置
 - 2.1 除毛および剃毛
 - 2.1.1 剃毛は行わない。194(ⅡA)
 - 2.1.2 除毛が必要な場合にはサージカル・クリッパーや除毛クリームを使用し、手術直前に行う。195, 196(ⅡA)
 - 2.2 手術の前夜または当日朝に消毒薬入りの洗浄剤を用いてシャワー浴または入浴を行っても良い。197(ⅢC)

- 3 皮膚の消毒
 - 3.1 消毒を行う前に切開部位とその周囲を洗浄し、汚染を取り除く。(ⅢA)
 - 3.2 アルコール含有クロルヘキシジンまたはポピドンヨードを用いる。(ⅢA)
 - 3.3 消毒は切開部位から外側に向かって同心円状に行う。消毒の範囲は追加切開や切開の延長に対応できるような範囲とする。(ⅢA)

- 4 術者の手指衛生
 - 4.1 爪は短く切り、清潔にする。(ⅢA)
 - 4.2 手や腕に装身具を付けない。(ⅢA)
 - 4.3 手から肘の上まで石鹸と流水で手洗いを行い、その後手首まで擦式手指消毒薬を用いて手指消毒を行う。198, 199(ⅡA)

- 5 手術室医療従事者の管理
 - 5.1 排膿のある手術室の医療従事者は感染が治癒するまで就業を制限する。(ⅢA)
 - 5.2 黄色ブドウ球菌やA群連鎖球菌を保菌している手術室の医療従事者であっても、伝播に関与していない限り、業務から外す必要はない。200(ⅢA)